

# くにたち しらべ



NO.4

発行日 2008 年 2 月 21 日

編集 = くにたち図書館地域資料ボランティア

発行 = くにたち中央図書館

テーマ

## 『 国立の植物 』

### 国立の植物

国立の玄関口大学通りは、サクラ、イチョウ、モミジ等緑の並木が国立を象徴する風景です。

季節のうつろいごとに目を楽しませてくれます。

個人の屋敷林や社寺、学校にも樹木が多く存在します。

市の南部を東西に縦断する段丘崖「ハケ」があり湧水をもたらし緑を育てています。

水中昆虫、水中植物、鳥等崖線は大切な自然がいっぱいです。観察してください。

多摩川の川辺、矢川の湧水、そして中世の館跡のある城山公園を散策してみましょう。

植物が生育する地区を、市街地、ハケ、多摩川と3項目に分けました。

#### 《市街地の植生》

- \* 大学通りの並木道（春は花、秋は紅葉のトンネル）
- \* 谷保天満宮の梅林と自然林（天満宮は青柳段丘と立川段丘崖の合流点にあり、梅林や常緑樹も多く、古い歴史がしのばれます）
- \* 一橋大学構内にある数多くの樹林と野草（構内は市街地にありながら雑木林など植生は昔の面影も留めています。アカマツ、ウワミズザクラ、八重桜、イロハモミジ等また、カントウタンポポやキク科の花が咲きますが、年々植物が失われています。）

### 《ハケの植生》

- \* 谷保城山の雑木林や野草（シラカシ、シロダモ、ヤブツバキ、キツネノカミソリ、ヤブラン、ニリンソウ等）
- \* 湧水周辺の樹木、湿地とその流れに生える草（ナガエミクリ、オオカワヂシャ）  
水中には昆虫、それを食べる魚、又それを狙う鳥等がみられます。
- \* 青柳崖線の樹林は自然林に近い樹木を残します。

### 《多摩川の土手の植生》

- \* 多摩川の沖積地の植物  
川原植物は日照りに強くやせ地にも育ちます（チガヤ、オギ、メドハギ、キクイモ等）
- \* 堤防には、ヒガンバナ、イタドリ、ネズミノオ等がみられます。

国立は四季折々に風景が変わります。最近マンション等が多く建ち環境が変わり、年々緑が失われていますが、市民の目を楽しませてくれています。

また、絶滅した植物も多く新たに外来植物が多くみられます。



城山



青柳崖線



ナガエミクリ



カントウタンポポ



ヤブツバキ



キツネノカミソリ



シラカシ



ニリンソウ

以下の参考資料はくにたち中央図書館にあります。

(参考資料)

- 472.1 くにとち緑の交響楽(1990)
- 10G2 国立市緑の基本計画(2003)
- 10C2 雑木林の道[矢川、青柳コース](1993)
- 10C2 くにとちガイドマップ
- 10Q0 くにとち自然ガイド(植物)(1984)
- K462 くにとち自然マップ(1988)
- なずなの会(植物観察会の記録)1993

- \*市の花 うめ
- \*市の木 いちょう
- \*市の色 みどり
- \*市の鳥 シジュウカラ

